

国際研究集会の御案内

東京大学史料編纂所では、ロシアに所在する日本関係史料の系統的な調査・研究と収集に取り組み、現地の研究機関と協力して国際研究集会や共同研究を行っています。今回は新任のロシア国立歴史文書館長をはじめロシアの旧都サンクトペテルブルクからお二人の研究者を招聘し、ロシアの文書館が所蔵する史料群に基づいた報告をお願いしています。また、史料編纂所が日本学士院の委嘱を受け、長年にわたって収集してきたロシアを含む海外史料の画像データ（約 150 万コマ以上）をデータベース化するプロジェクトを開始しました。当日はその概要もご紹介いたします。ぜひご参加ください。

日露関係史料をめぐる国際研究集会

日時:2015 年 5 月 19 日(火)、14:00~17:00

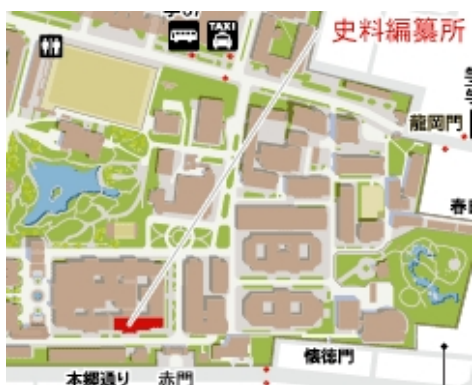
会場:東京大学史料編纂所(大会議室)

▼報告1: 保谷 徹教授
(東京大学史料編纂所)
「在外日本関係史料のデジタルアーカイブズ化
プロジェクトについて」

▼報告2: ワジム・クリモフ上級研究員
(ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所)
「1862 年日本使節団のロシア訪問
—出版物とクロンシュタット」

▼報告3: セルゲイ・チェルニャフスキー館長
(ロシア国立歴史文書館)
「海軍提督 E・I・アレクセエフ
—海軍司令官にして政治家」

※終了後、レセプションを予定しています。



主催/日本学士院・ 東京大学史料編纂所

連絡先: 科研事務局 03-5841-8411

科学研究費補助金基盤研究 (S) 「マルチアーカイヴルの手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」(研究代表者: 保谷 徹)

※本集会は日本学士院による日本関係未刊行史料調査事業 (国際学士院連合関連事業) の一環として行われます。

史料編纂所大会議室 (会場は研究所の向かい側の建物、地下 1 階です)。